

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 43 回部会）会議録

日 時：令和 5 年 5 月 11 日（木）午後 7 時～午後 8 時 15 分
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 活動報告及び意見交換
(2) その他
- 4 その他
- 5 閉会

≪配付資料≫

- ・ 議事次第
- ・ 今後の取組みスケジュール
- ・ 豊新地域保健福祉計画ワークショップ
- ・ その他

1. 開会

2. 部会長あいさつ

（部会長は欠席）

3. 議題

（1）活動報告及び意見交換

（事務局）

- ・ 配布資料の「今後の取組みスケジュール」は、前回（第 4 2 回）配布したものと同一。部会の今年度の開催日程をご確認いただきたい。
- ・ 今年 1 月から 3 月にかけて開催された「豊新地域保健福祉計画ワークショップ」について報告する。
- ・ 豊新地域では、平成 30 年 4 月の「地域保健福祉計画」の策定から約 5 年が経過し、その間の活動状況を踏まえて計画を振り返り、この先の方向性について話し合うワークショップを開催した。参加者は、各団体の代表と 5 年前の前の計画策定に携わった人などで、関心のある人は地域を問わず参加できるよう、広報した。事前に 6 回の開催日と、高齢者・防災・子育てなどのテーマを決め、関心のあるテーマに参加できるよう呼び掛けた。進行役は地活協会長で、「1 テーブル 8 人以下、1 人 1 回は発言する、批判はしない」というルールに則り、テーブルに「地域保健福祉計画」を大きく拡大した模造紙を広げ、「新たな課題」とその「解決策」について、テーブルごとに話し合った。参加者は各回 20 名程度で、「高齢化などでボランティアが減り、コロナ禍で行事が少なくさびしかった」、「何かやらなあかん」といった意見が出た。まとめ方は、5 年前の計画に上書きしていくようなイメージで、現在、会長が計画の更新案を作成中である。

（質疑応答）

（部会員）

- ・ ワークショップの開催写真を見ると、テーブルに「地域保健福祉計画」の全項目を掲げているように見えるが、実際はどうだったか。

(事務局)

- ・ワークショップのその日のテーマに該当するページの計画を拡大して使っていた。

(部会員)

- ・新庄地域では、同じ開催日にテーブルごとにテーマを決めて進めていた。「子どもを誘わなあかん」、「何かせなあかん」といった意見は、どこの地域でも同じだと思う。うちの地域でも、ワークショップをやってみようかと考えている。

(部会員)

- ・ワークショップの開催写真を見る限りでは、参加者は若い人が多かったのか。

(事務局)

- ・ワークショップの参加者も若手や中堅の世代の方が多かったようだ。下新庄では、町会長会議と若手の双方の意見を別々に聞き、バランスを取りながら進めていたそう。

(部会員)

- ・「うちもやらなあかん」という気持ちにはなっている。小学校の桜がきれいなので、記念写真が撮影できるよう、「桜を見る会」を開催するのもいいかもしれない。

(部会員)

- ・新庄地域では、個別避難計画に沿った訓練をずっとやっている。5月21日（日）には、受付業務だけの訓練をしてみようと企画している。大阪北部地震を教訓に、各集合場所に朝8時30分に集合するという時間だけを決め、机と紙だけを準備しておき、集まってきた人たちだけで避難所の受付をセルフでやってもらう。スムーズにできなくてもいいので、失敗したことをアンケートで聞き取りたい。また、備蓄倉庫の点検と棚卸しも行った。長らくコロナ禍で活動できなかった今だからこそ、またゼロからスタートし、ちょっとずつ小さなことから、短時間でもできることから始めていきたい。

(部会員)

- ・東淡路地域でも、4年前から防災訓練を行っているが、要援護者の福祉避難所の設営や、車いす・歩行困難者への対応など、想定外のことが起きてバタバタした。そうしたことも勉強になると思う。

(部会員)

- ・以前、百数十名でやってみたが、本部・受付の設営も難しかったので、パーツごとに訓練していきたい。

(久教授)

- ・三田市のゆりのき台の協議会では、防災を勉強している高校生が企画して、アルファ化米を調理するのに、ジュースなどを試しに使ってみる遊びのような企画をしていた。

(事務局)

- ・若い人が入ると、活動が面白くなるようだ。

(事務局)

- ・建設局の「パークファン事業」について、これまで公園内で個人が主催するイベントの開催は難しかったが、試験的に“みんなで楽しめる公園での遊びかた”を募集している。淀川区では落ち葉拾い、西淀公園では防災イベントをした。市のホームページの事例を見て、関心や提案があれば区役所を通じて建設局と

手続きを進めていきたい。

(部会員)

- ・もしも新庄公園で「桜を見る会」を開催しようとしたら、どのような手続きが必要か。

(事務局)

- ・近所の人が集まってきて桜を見るだけなら手続きは必要ないと思われるが、例えば炊き出しや何かの体験会などの催しを開催する場合には、必要になる。定期的に「〇〇教室」などを開催して、人を集める場合にも手続きが必要で、建設局の使用許可を得て実施することになる。

(部会員)

- ・以前、東淡路南公園でミニコンサートをしていたと思う。これも手続きを経て実施していたのか。

(事務局)

- ・「アワナリエ」というイルミネーションのイベントで、食べ物や飲み物の販売もしていた。手続きをすれば、区の広報なども使えるため、公園の利用ルールに則ってイベントを実施すれば効果的だと思う。東成区の「街道玉手箱」というイベントでは、アーティストの発表の場として公園を利用して、参加アーティストは作品を発表し、販売したりしている。

(部会員)

- ・公園を使ったイベントで、まちに若い人を呼び寄せたいと思う。

(久教授)

- ・大きな公園では、指定管理者がイベントを企画・実施している。例えば、茨木市では、土日、どこかで、誰かが、何かをやっている。市役所の周辺では、市民会館の建替中にマルシェを開催したり、こたつを持ってきて話す場を作るなど、今何ができるかを試している。また、生駒市では、1人のママがご近所にポスティングをして一緒に公園で遊ぶ人を募集したことがきっかけで、「公園にいこーえん」という企画となり、今では毎月50組位の親子が集まるようになった。

(部会員)

- ・神戸の須磨水族園の巨大水槽前でもこたつを出していた。生駒市の取り組みは、インスタグラムの紙版と
いうか、地域版といった感じか。

(久教授)

- ・一人でも始められること、行政や警察などにやってみたいという気持ちや可能性を潰されないこと、制限なく自由にやらせてもらえる場がある、といったことが重要だ。

(部会員)

- ・よく聞く意見では、「地域の人たちのほうが、若い人たちのほうに来てください」と言われる。

(久教授)

- ・摂津市の「マミー・クリスタル」は、地域の集会所を使って自分たちの活動をする事で、地域の人たちにも自分たちの活動を見てもらいたい、という思いがある。世界中で「プレイスメイキング」の活動が広がっている。

(事務局)

- ・大阪市も色々な施策を展開している。例えば、自動販売機の設置者に、防犯カメラ設置を義務づけて募集（防犯カメラの設置費用は、自販機の収益の一部から賄う）したところ、手を挙げる事業者があった。

（部会員）

- ・自販機の防犯カメラで、公園の中を撮影しているのか。

（部会員）

- ・公園に限らず、町の中に防犯カメラの設置を進めている。防犯カメラがあると、悪さをする人が少なくなった。ただし、交換費用がかかり、カメラのないところがかえって狙われたりもする。電源や設置場所の問題などもあり、機種選定はなかなか難しい。広く見渡せるような場所で、個人宅にカメラを設置させてもらえると助かる。

（事務局）

- ・5月8日から、コロナ対応については、『行政は制限をかけないので、個人で判断して行動してください』というように変わった。大阪市の通知で「市の考え方」を示していて、この会議についてはマスクを外してもよいということになる。やっと、注意しながらイベントができるようになった。

（部会員）

- ・欠席されている部会員から、伝言があるので、代読する。

『東淡路・柴島地域では、令和4年度の決算を終え、令和5年度の事業計画・予算が決まりました。地活協の活動も10年が経過した今年度は「つなげよう、次の世代へ」をテーマに、進化と振り返りを目指します。様々な世代と交流し、見直しを進めていきたいと考えています。』

（事務局）

- ・ぜひ、そのような場を通じて、「地域保健福祉計画」の見直しやアクションプランを考えていけるといい。

（事務局）

- ・本日の会議では、各地域の部会員の皆さんが「若い人」という言葉をよく使われていた。本日参加されている部会員の皆さんも十分に若い世代だと思うが、具体的にどのような人たちを想定されているのか。

（部会員）

- ・うちの地域では、91歳の方や、70代～80代の方が頑張っておられる。若い世代の方は、自治会にも入りたくない、という考えの人もある。子育てサロンなど、乳幼児や未就学児の子育て中の人たちはイベントに来てくれたりするが、小学校に入り、PTA活動などになるとふわーっといなくなってしまいがちである。現役の子育て世代である、20代、30代～40代、もしくは50代あたりの人たちも参加して、うまく活動が広がっていくように、展開できるといい。

（事務局）

- ・会議が始まる前に、部会員の皆さんが「コロナ禍で学校行事やイベントが開催できず、まちづくりに関心がありそうな元気な親世代とつながることができない」と話していたが、まさにそのように、子どもと

一緒に親子や家族で参加できる機会をいかに作っていくかが、まちづくりにつながっていくと思う。

(久教授)

- ・和泉市のみずき台では、毎年役員になった人が、自分がやりたいことをするので、継続した行事はないそうだ。人材が自治会だけで足りない場合には、OB達から成るまちづくり会からサポートに入る仕組みになっている。

4. その他

- ・次回の部会は、7月13日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

5. 閉会

以上